

Russell/Nomura 日本株インデックス パフォーマンス・レビュー

2009年2月は、引き続きバリュウが優勢

Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は前月比-12.79%であった。リビジョン・インデックスは-68.93となった。

- ▶ 【バリュウが優勢】2009年2月のRussell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は、前月比-12.79%の下落を示した。Russell/Nomura Total Value 指数とRussell/Nomura Total Growth 指数のリターン・スプレッド(円建て)は+3.58%となり、先月に引き続きバリュウ優位の結果となった。また、Russell/Nomura Small Cap 指数とRussell/Nomura Large Cap 指数のリターン・スプレッド(円建て)は-1.08%となり、大型優位の傾向を示した。
- ▶ 【リビジョン・インデックスは-68.93】個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは-68.93となった。先月より大幅に悪化し、2008年12月に記録した過去最低水準をさらに下回る結果となった。
- ▶ 【ゴム製品のパフォーマンスが良好、その他製品のパフォーマンスが悪化】Russell/Nomura Prime 指数における業種別月次リターンではゴム製品、石油・石炭製品、輸送用機器のパフォーマンスが良好であった。一方、その他金融業、証券・商品先物取引業のパフォーマンスが悪化した。
- ▶ 【寄与度最下位は三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)】Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄で見た寄与度ランキングでは、寄与度最下位は三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)であった。一方、寄与度最上位はトヨタ自動車(7203)であった。

2009年3月3日
クオンツレポート

カテゴリー
インデックス・リサーチ

スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	市場 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	成長 2.86	成長 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	市場 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	200803
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	小型 -4.06
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	市場 -1.08	市場 -7.58
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	成長 -7.85
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	市場 1.22	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	割安 -8.47
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	小型 -6.48	小型 -4.70	成長 -10.7	割安 -2.39	コア -9.12
順位	200804	200805	200806	200807	200808	200809	200810	200811	200812	200901	200902	
1	コア 15.19	成長 5.22	小型 -5.26	割安 -0.21	割安 -3.34	割安 -10.3	小型 -16.4	小型 0.82	成長 3.85	割安 -5.39	割安 -2.11	
2	割安 13.93	小型 3.92	割安 -6.14	市場 -0.89	市場 -3.54	小型 -11.3	成長 -20.3	市場 -3.66	市場 2.98	小型 -6.53	市場 -4.64	
3	市場 11.93	コア 3.83	コア -6.28	市場 -1.40	市場 -3.58	市場 -13.0	市場 -20.3	成長 -4.18	小型 2.73	市場 -7.64	コア -4.76	
4	成長 11.56	市場 3.64	市場 -6.31	コア -1.49	コア -3.82	コア -14.0	コア -20.7	割安 -4.65	コア 2.28	コア -7.98	小型 -5.57	
5	小型 6.62	割安 2.08	成長 -6.70	成長 -2.77	成長 -3.85	成長 -16.2	割安 -21.4	コア -7.61	割安 2.02	成長 -9.61	成長 -6.41	

野村證券
金融工学研究センター
片山 智代
田村 浩道
03-3274-1079
katayama-1q31@jp.nomura.com

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

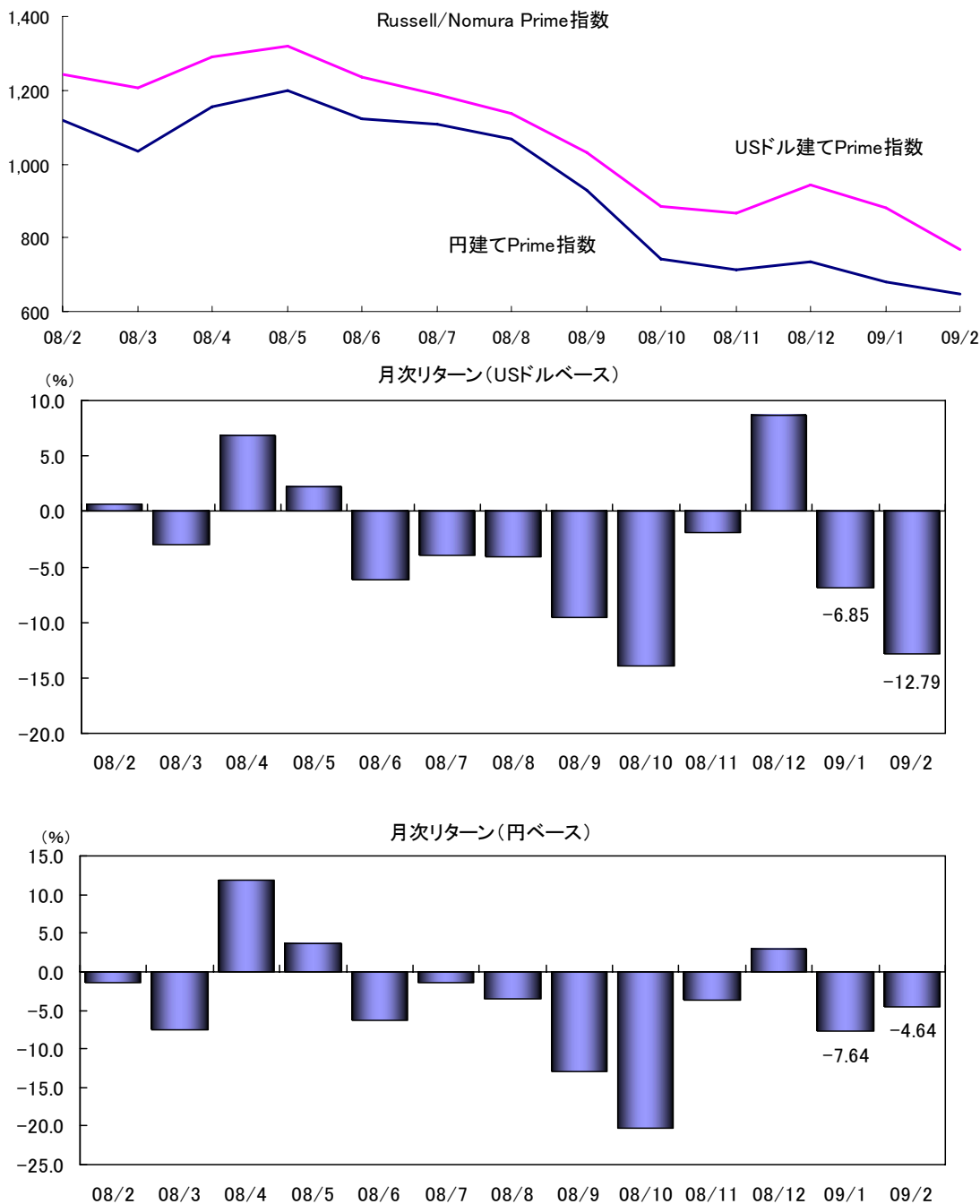
(出所) 野村證券金融工学研究センター

1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

09年2月のPrime指数(米ドル建て)は、-12.79%の下落

2009年2月における、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)は前月比-12.79%となった。円建てベースでも、前月比-4.64%の下落であった。2009年2月末時点の為替レート(月末終値、出所：日本銀行)は2009年1月末時点の89.51円から、97.87円となった。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

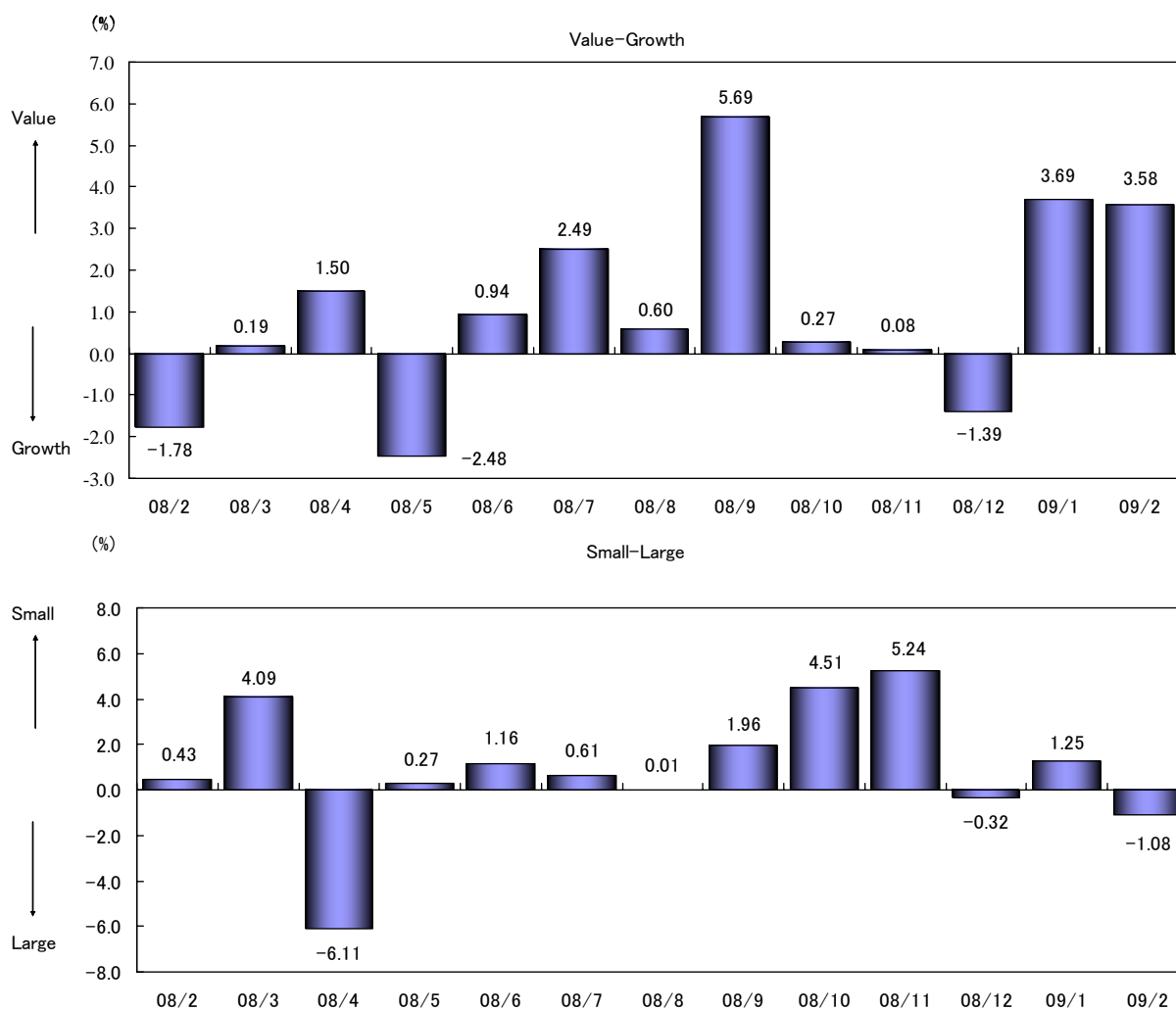
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします

バリューが優勢

図表2は、スタイル別のリターン・スプレッド(円建て)の月次推移を示している。また、図表3は、市場、コア(時価総額上位50%以上)、割安(大型・バリュー株)、成長(大型・グロース株)、小型といった5つのスタイル区分による月次リターン(円建て)のランキングを表している。

2009年2月は、引き続き市場全体が下落する結果となった。その中で相対的に見ると、先月と同様、割安(大型・バリュー株)が最も良好なパフォーマンスを示した(図表3)。バリュー・グロースの比較で見ると、グロース株は-6.44%の下落であったのに対し、バリュー株は-2.85%に留まった。これより、バリュー株とグロース株のリターン・スプレッドは、+3.58%となり、先月と同水準のバリュー優位の傾向を示した。一方、小型・大型の比較で見ると、小型株が-5.57%の下落であったのに対し、大型株は-4.49%であった。これより、小型株と大型株のリターン・スプレッドは、-1.08%となり、大型優位の傾向を示した(図表2)。

図表2 リターン・スプレッドの月次推移



(注) Value-GrowthはValueとGrowthのリターンの差、Small-LargeはSmallとLargeのリターンの差である。

リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

図表3 スタイル別月次ランキング(円建て・配当込み)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701	200702	200703
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47	割安 2.98	割安 -1.00
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06	コア 1.99	小型 -1.41
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57	市場 1.78	市場 -1.60
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39	小型 1.09	コア -1.94
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22	成長 0.82	成長 -2.23
順位	200704	200705	200706	200707	200708	200709	200710	200711	200712	200801	200802	200803
1	成長 -0.13	コア 5.16	小型 2.12	小型 -3.58	成長 -4.48	割安 1.63	小型 1.91	コア -5.15	割安 -2.52	割安 -7.66	成長 -0.63	小型 -4.06
2	市場 -0.67	成長 4.06	成長 1.46	成長 -3.65	市場 -5.53	コア 1.50	市場 0.29	成長 -5.23	コア -3.28	小型 -8.67	小型 -1.08	市場 -7.58
3	コア -0.94	市場 3.25	市場 1.19	市場 -3.87	コア -5.94	成長 1.25	成長 0.18	市場 -5.44	市場 -3.49	コア -8.76	コア -1.33	成長 -7.85
4	小型 -0.97	割安 3.25	割安 0.72	コア -4.10	割安 -6.30	市場 1.22	割安 -0.06	割安 -5.44	成長 -4.03	市場 -9.12	市場 -1.49	割安 -8.47
5	割安 -1.25	小型 -0.04	コア 0.65	割安 -4.15	小型 -7.20	小型 -0.48	コア -0.27	小型 -6.48	小型 -4.70	成長 -10.7	割安 -2.39	コア -9.12
順位	200804	200805	200806	200807	200808	200809	200810	200811	200812	200901	200902	
1	コア 15.19	成長 5.22	小型 -5.26	割安 -0.21	割安 -3.34	割安 -10.3	小型 -16.4	小型 0.82	成長 3.85	割安 -5.39	割安 -2.11	
2	割安 13.93	小型 3.92	割安 -6.14	小型 -0.89	市場 -3.54	小型 -11.3	成長 -20.3	市場 -3.66	市場 2.98	小型 -6.53	市場 -4.64	
3	市場 11.93	コア 3.83	コア -6.28	市場 -1.40	小型 -3.58	市場 -13.0	市場 -20.3	成長 -4.18	小型 2.73	市場 -7.64	コア -4.76	
4	成長 11.56	市場 3.64	市場 -6.31	コア -1.49	コア -3.82	コア -14.0	コア -20.7	割安 -4.65	コア 2.28	コア -7.98	小型 -5.57	
5	小型 6.62	割安 2.08	成長 -6.70	成長 -2.77	成長 -3.85	成長 -16.2	割安 -21.4	コア -7.61	割安 2.02	成長 -9.61	成長 -6.41	

投資スタイルと対応指数

市場	Russell/Nomura Prime
コア	Russell/Nomura Top Cap
割安	Russell/Nomura Large Cap Value
成長	Russell/Nomura Large Cap Growth
小型	Russell/Nomura Small Cap

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

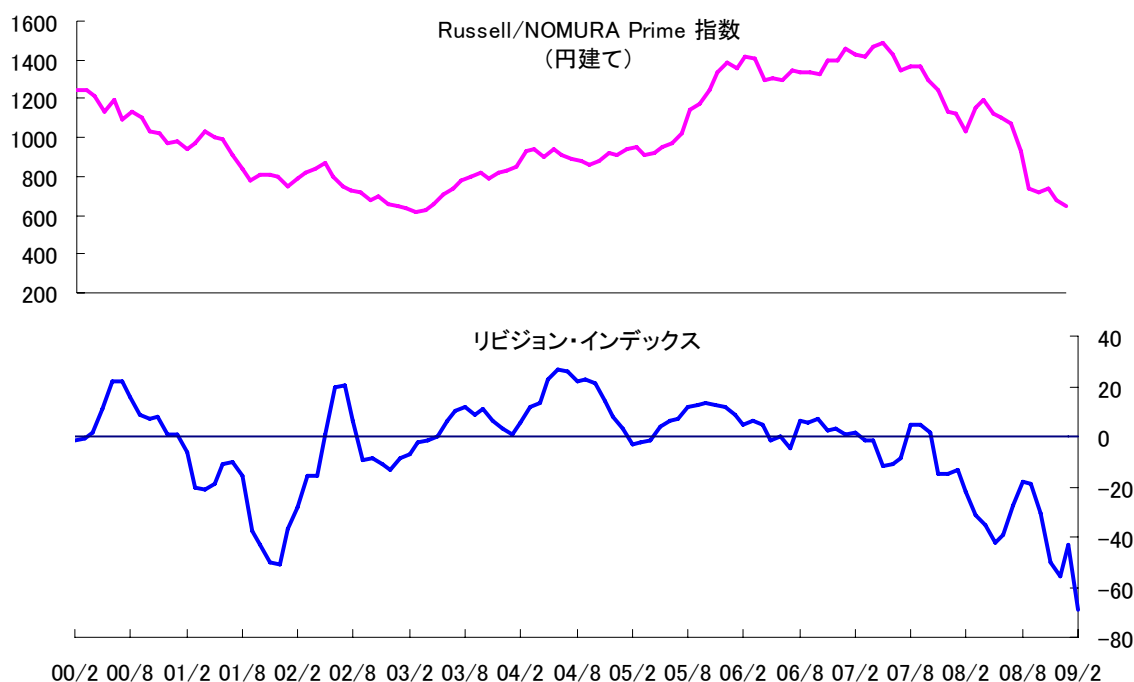
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

リビジョン・インデックスは-68.93となり、過去最低水準を記録

Russell/Nomura Total Market 指数を構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると（図表4）、2009年2月は-68.93となった。先月改善の兆しが見えたが、再び悪化し、過去最低水準を記録した2008年12月の水準をも下回った。上方修正銘柄数が103銘柄、下方修正銘柄数は906銘柄であった。上方修正銘柄の減少および下方修正銘柄の増加により、大きく悪化することとなった。

図表4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデックス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
2009年02月	-68.93	103	906
2009年01月	-43.07	179	751

（注）リビジョン・インデックスとは、 $(\text{上方修正銘柄数} - \text{下方修正銘柄数}) / \text{有効銘柄数} \times 100$ で算出される業績の修正動向を示す指数である。2009年2月の有効銘柄数は1,165銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団をRussell/Nomura Total Market 指数に含まれる全銘柄とし、月末業績予想値と前四半期中に発表された最終業績予想値の比較に基づいて算出している。

（出所）野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

2. 業種別パフォーマンス・レビュー

パフォーマンス最上位はゴム製品、最下位はその他金融業

Prime 指数において、2009年2月のパフォーマンスが最も良かった業種は、ゴム製品であった。同業種の前月比の月次リターンは+11.92%であった。次いで、石油・石炭製品(+10.73%)、輸送用機器(+10.42%)の月次リターンが高かった。一方、パフォーマンスの悪化が著しかったのは、その他金融業で、前月比の月次リターンは-30.14%であった。次いで、証券・商品先物取引業(-27.27%)、パルプ・紙(-16.13%)などの月次リターンが低かった。上位業種の月次リターンの水準は高く、上位業種と下位業種で大きなリターン格差が生じる結果となった(図表5)。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位 10 業種)

指数	Prime	-4.64	Large Value	-2.11	Large Growth	-6.41	Small	-5.57
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 ゴム製品	11.92	ゴム製品	15.39	ゴム製品	16.47	石油・石炭製品	10.56
	2 石油・石炭製品	10.73	石油・石炭製品	11.62	ガラス・土石製品	6.29	輸送用機器	8.30
	3 輸送用機器	10.42	輸送用機器	11.22	石油・石炭製品	6.06	電気・ガス業	0.94
	4 非鉄金属	3.81	非鉄金属	9.97	輸送用機器	4.88	ガラス・土石製品	0.58
	5 精密機器	1.61	電気機器	-0.49	機械	2.58	機械	-1.53
	6 電気機器	-0.51	卸売業	-1.48	鉱業	2.26	精密機器	-1.61
	7 空運業	-0.60	ガラス・土石製品	-2.52	精密機器	2.21	その他製品	-2.12
	8 鉱業	-0.68	情報・通信業	-3.21	卸売業	0.56	食料品	-2.71
	9 ガラス・土石製品	-0.73	その他製品	-4.55	その他製品	0.33	卸売業	-2.84
10 その他製品	-0.92	電気・ガス業	-4.61	電気機器	0.06	電気機器	-3.47	
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 その他金融業	-30.14	その他金融業	-33.59	証券・商品先物取引業	-30.83	その他金融業	-25.15
	2 証券・商品先物取引業	-27.27	証券・商品先物取引業	-23.89	その他金融業	-23.90	保険業	-18.88
	3 パルプ・紙	-16.13	不動産業	-22.15	非鉄金属	-18.55	証券・商品先物取引業	-16.60
	4 不動産業	-15.38	パルプ・紙	-17.03	建設業	-15.96	不動産業	-14.18
	5 建設業	-13.54	食料品	-14.22	不動産業	-15.26	パルプ・紙	-13.23
	6 水産・農林業	-11.58	建設業	-13.82	パルプ・紙	-15.08	鉱業	-12.45
	7 小売業	-11.07	倉庫・運輸関連業	-13.24	銀行業	-13.28	水産・農林業	-11.46
	8 倉庫・運輸関連業	-10.35	医薬品	-11.63	小売業	-12.36	建設業	-11.31
	9 食料品	-9.64	繊維製品	-10.87	食料品	-11.02	小売業	-9.16
10 銀行業	-9.50	小売業	-9.90	保険業	-10.80	情報・通信業	-8.58	

(注) 単位は (%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

寄与度最下位は三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)、最上位はトヨタ自動車(7203)

個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位5社を示したのが図表6である。なお、月次リターンは、円建てベースで示した。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)が-0.288%と最も低い寄与度を示し、月次リターンは前月比-10.98%となった。次いで、みずほフィナンシャルグループ(8411)で-0.212%、月次リターンは前月比-17.18%であった。一方、最も高い寄与度を示したのはトヨタ自動車(7203)で+0.295%であった。同銘柄の月次リターンは前月比+8.72%となった。次いで、本田技研工業(7267)で+0.250%、月次リターンは前月比+15.26%であった。上位銘柄・下位銘柄ともに、業種全体のパフォーマンスに大きな影響を与えていた。

図表6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位5社

		Prime: -4.64%		Top: -4.76%			
		寄与度(%)	リターン(%)	寄与度(%)	リターン(%)		
上位銘柄	1	7203 トヨタ自動車	0.295	8.72	7203 トヨタ自動車	0.637	8.72
	2	7267 本田技研工業	0.250	15.46	7267 本田技研工業	0.540	15.46
	3	6954 ファナック	0.114	19.05	6954 ファナック	0.246	19.05
	4	8308 リソナホールディングス	0.073	20.55	5108 プリヂストン	0.145	16.64
	5	5108 プリヂストン	0.067	16.64	6752 パナソニック	0.130	5.00
下位銘柄	1	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.288	-10.98	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.621	-10.98
	2	8411 みずほフィナンシャルグループ	-0.212	-17.18	8411 みずほフィナンシャルグループ	-0.459	-17.18
	3	8316 三井住友フィナンシャルグループ	-0.179	-13.15	8316 三井住友フィナンシャルグループ	-0.386	-13.15
	4	4568 第一三共	-0.164	-22.01	4568 第一三共	-0.353	-22.01
	5	8802 三菱地所	-0.124	-16.85	8802 三菱地所	-0.268	-16.85

		Large-V: -2.11%		Large-G: -6.41%		Small: -5.57%				
		寄与度(%)	リターン(%)	寄与度(%)	リターン(%)	寄与度(%)	リターン(%)			
上位銘柄	1	7203 トヨタ自動車	0.701	8.72	6954 ファナック	0.241	19.05	6479 ミネベア	0.068	21.15
	2	7267 本田技研工業	0.658	15.46	6861 キーエンス	0.092	12.46	7282 豊田合成	0.060	30.54
	3	8308 リソナホールディングス	0.193	20.55	7751 キヤノン	0.089	2.63	5007 コスモ石油	0.047	12.30
	4	6752 パナソニック	0.142	5.00	7741 HOYA	0.083	10.61	5233 太平洋セメント	0.041	11.90
	5	5001 新日本石油	0.140	18.34	6301 小松製作所	0.081	7.92	4088 エア・ウォーター	0.041	14.15
下位銘柄	1	7011 三菱重工業	-0.274	-19.42	8306 三菱UFJフィナンシャル・グループ	-0.508	-10.98	1808 長谷工コーポレーション	-0.208	-60.00
	2	8591 オリックス	-0.270	-49.38	8411 みずほフィナンシャルグループ	-0.450	-17.18	8564 武富士	-0.116	-49.30
	3	9432 日本電信電話	-0.195	-3.41	8316 三井住友フィナンシャルグループ	-0.378	-13.15	8848 レオパレス21	-0.100	-28.40
	4	6758 ソニー	-0.175	-6.29	4568 第一三共	-0.280	-22.01	8356 十六銀行	-0.089	-23.56
	5	6501 日立製作所	-0.168	-15.65	8802 三菱地所	-0.263	-16.85	8697 大阪証券取引所	-0.076	-20.96

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

寄与度とは前月末インデックス内構成ウエイト×月次リターン(%)で算出される値。

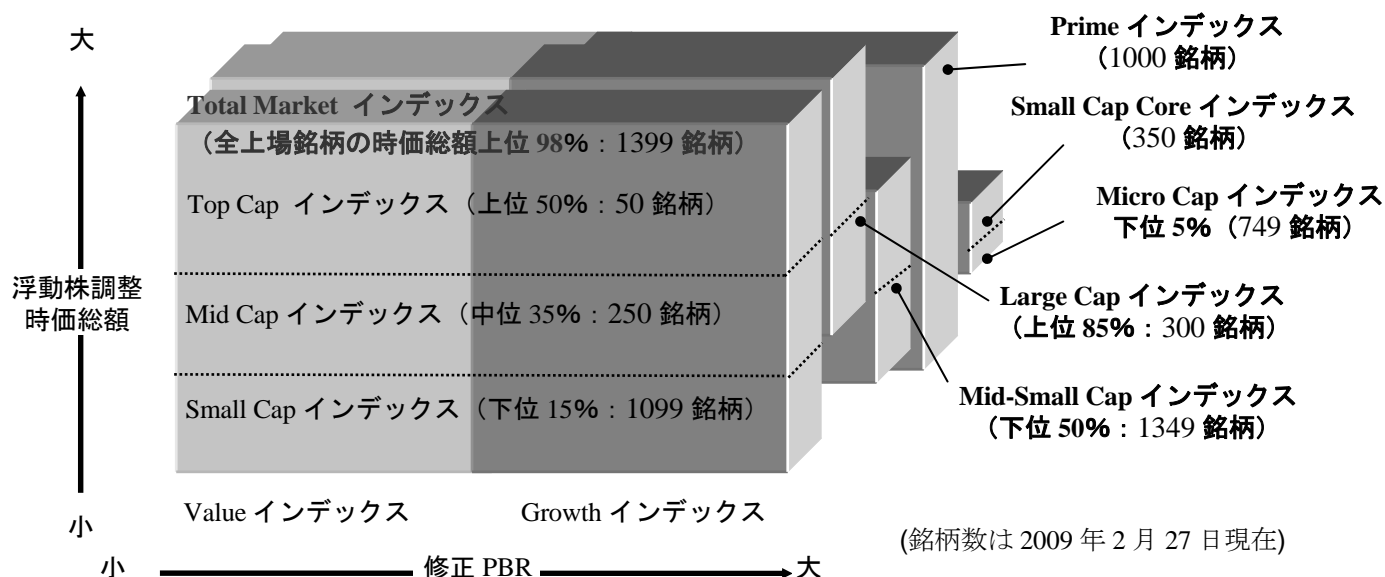
(出所) 野村証券金融工学研究センター

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融工学研究センターが共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されております。なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value/Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule200808.pdf をご覧ください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500~504、510~517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などがご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウェイト、個別銘柄情報については、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

徳野 明洋・平野 由美子：idx_mgr@frc.nomura.co.jp

電 話：03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします

当社で取り扱う商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等（国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）取引の場合は約定代金に対して最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は、2,730 円（税込み））の売買手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等）をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）の売買取引には、約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み））の売買手数料をいただきます。国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。国内株式（国内 REIT、国内 ETF を含む）は株価の変動により損失が生じるおそれがあります。

外国株式の売買取引には、売買金額（現地約定金額に現地手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対し最大 0.9975%（税込み）（売買代金が 75 万円以下の場合は最大 7,455 円（税込み））の国内売買手数料をいただきます。外国の金融商品市場での現地手数料や税金等は国や地域により異なります。外国株式を相対取引（募集等を含む）によりご購入いただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。ただし、相対取引による売買においても、お客様との合意に基づき、別途手数料をいただくことがあります。外国株式は株価の変動および為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

信用取引には、売買手数料（約定代金に対し最大 1.365%（税込み）（20 万円以下の場合は 2,730 円（税込み）））、管理費および権利処理手数料をいただきます。加えて、買付の場合、買付代金に対する金利を、売付の場合、売付け株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託保証金は、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の額が必要です。信用取引では、委託保証金の約 3.3 倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託保証金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。詳しくは、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、等をよくお読みください。

野村證券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第 142 号

加入協会／日本証券業協会、（社）日本証券投資顧問業協会、（社）金融先物取引業協会

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。